

2010年12月期(第32期) 決算説明資料

2011年2月10日

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2010年12月期業績概要(1)

<経済の動向>

① 我が国の経済は依然として厳しい情勢が続く

- ・円高の伸展や株価の変動
- ・雇用情勢に厳しさが残る
- ・輸出の緩やかな増加、企業収益の改善等により景気回復の兆しが見られた

② 世界経済も不透明な状況が続く

- ・アメリカ・ヨーロッパを中心とした景気の下振れ懸念
- ・金融資本市場の変動やデフレの影響など、景気を下押しするリスク
- ・雇用情勢の悪化懸念が残る
- ・アジア地域は、中国など内需中心に景気拡大

2010年12月期業績概要(2)

<ODAWARAグループの活動>

- ① モーター製造業界の設備投資動向に沿った製品を提供
- ② 積極的な営業活動を展開
- ③ 更なる技術開発とコストダウンに努めた
- ④ お客さまに満足いただける、生産効率向上に寄与する製品を開発
 - ・電気自動車駆動用モーターの巻線ラインシステム
 - ・電動パワステ用モーターの巻線ラインシステム
- ⑤ 連結業績の概要
 - ・過去最高の受注高6,094百万円(前期比108.1%増)、受注残高4,163百万円(前期比87.7%増)、生産高4,897百万円(前期比82.0%増)
 - ・売上高4,148百万円(前期比36.7%増)
 - ・売上高の順調な増加と原価率改善に加え、制度移行に伴う退職給付費用の減額効果により、営業利益512百万円(前期比466.3%増)、経常利益561百万円(前期比299.3%増)、当期純利益308百万円(前期比274.5%増)

経営指標等の推移(連結)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
売上高 (百万円)	3,560	3,086	4,444	3,035	4,148
経常利益 (百万円)	265	322	761	140	561
当期純利益 (百万円)	305	175	339	82	308
純資産額 (百万円)	6,856	6,956	7,150	7,070	7,279
総資産額 (百万円)	7,889	8,479	8,857	8,355	9,635
1株当たり純資産 (円)	1,162	1,180	1,213	1,200	1,243
1株当たり当期純利益 (円)	49.45	29.71	57.57	13.99	52.60
売上高経常利益率 (%)	7.5	10.4	17.1	4.6	13.5

業績推移(連結)

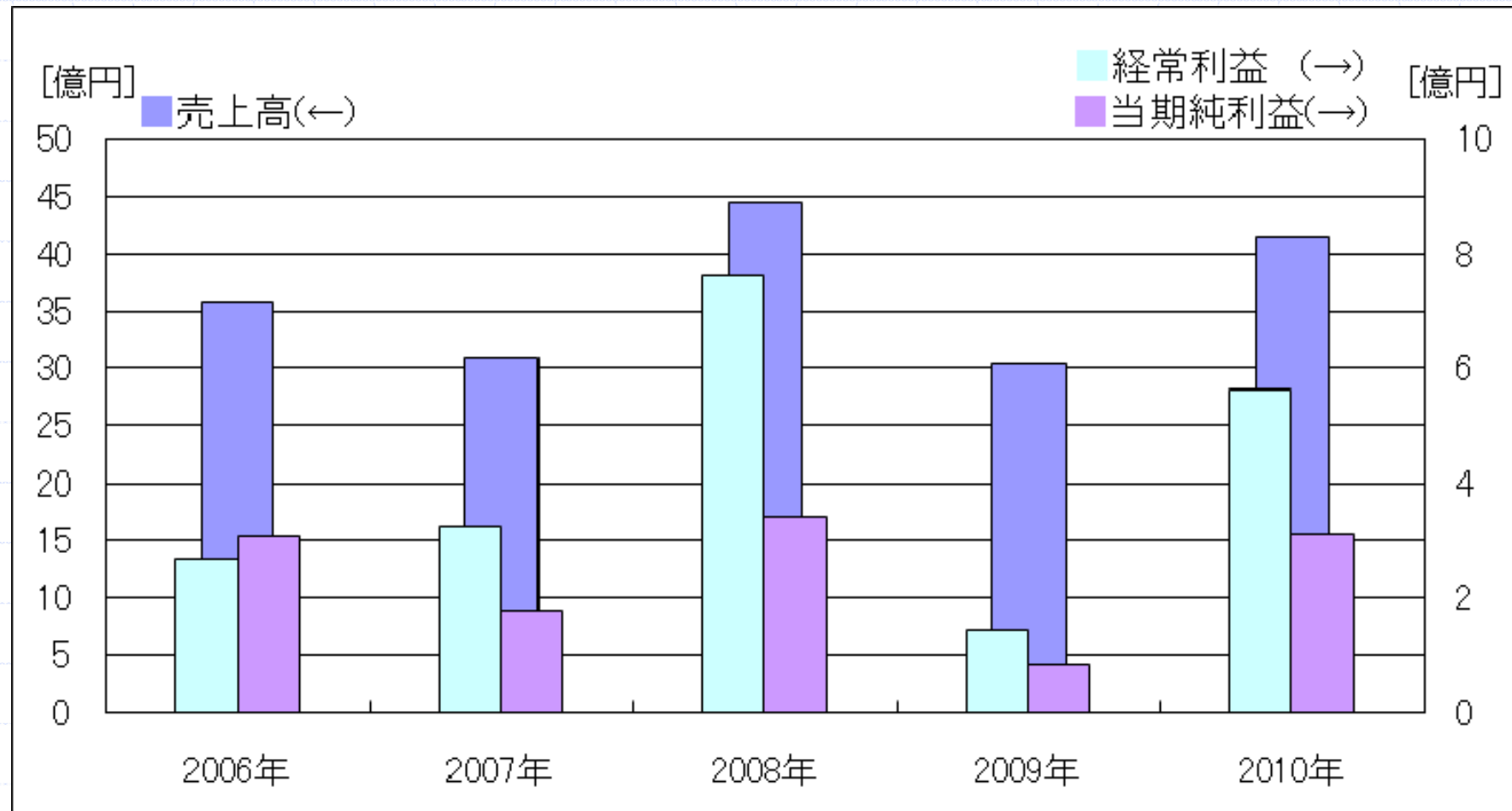
2006年：前年の反動で、設備投資鈍化の影響

2007年：前年に続き上半期までの営業成績が低調

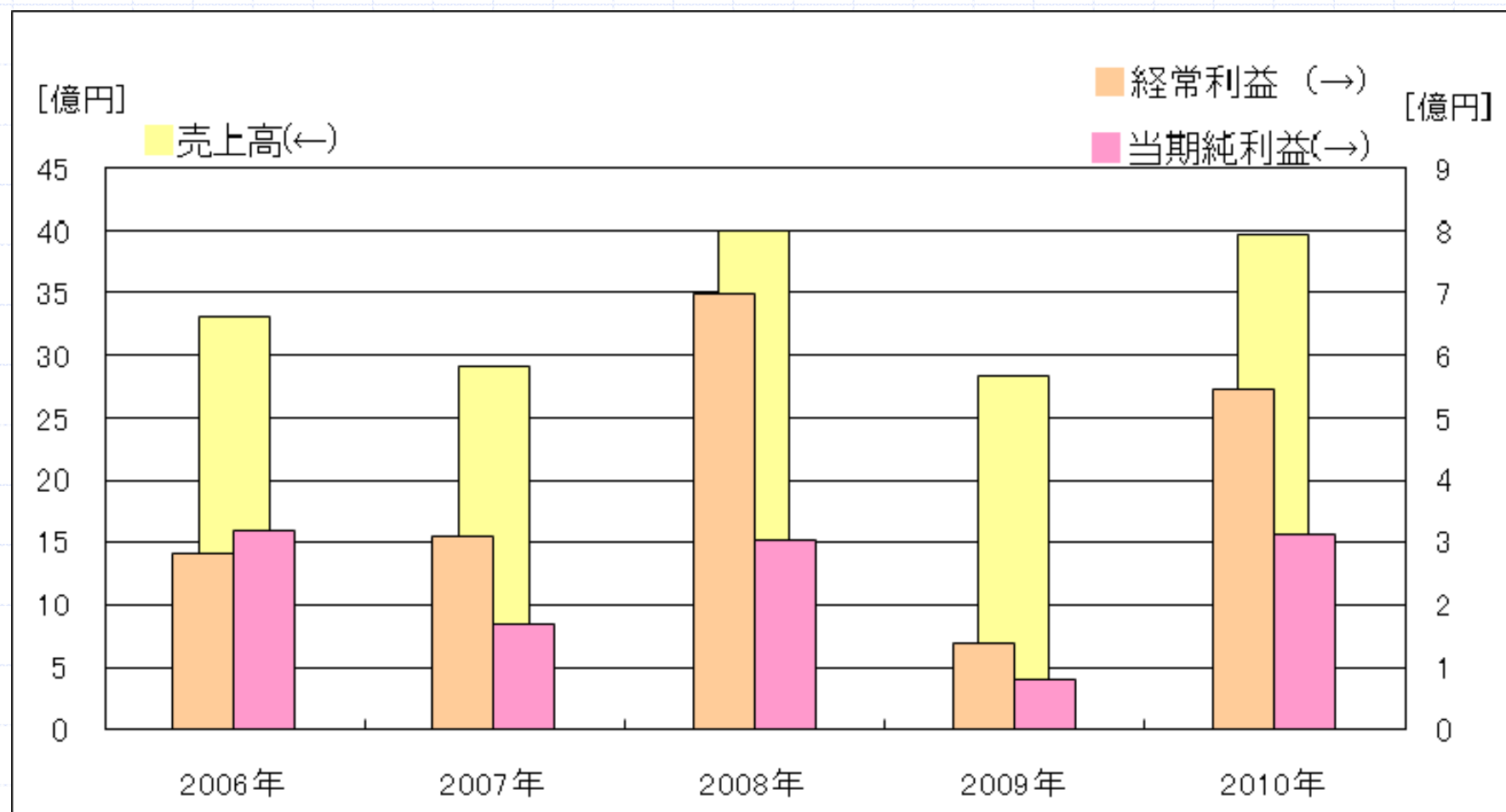
2008年：年後半までの受注獲得が順調、原価率が改善

2009年：年前半の受注低調が業績へ影響

2010年：過去最高の受注高、受注環境・生産活動とも順調

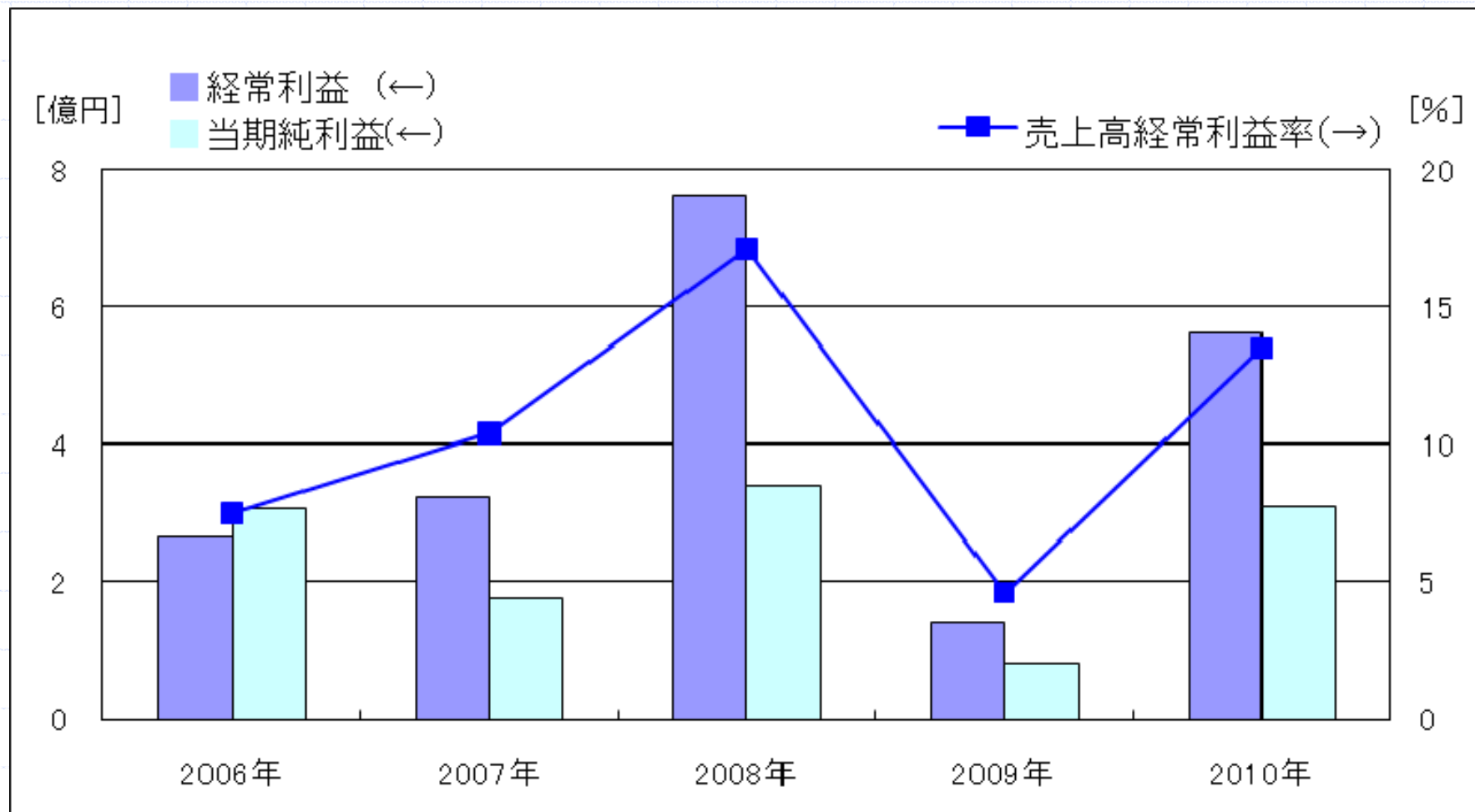


業績推移(単独)

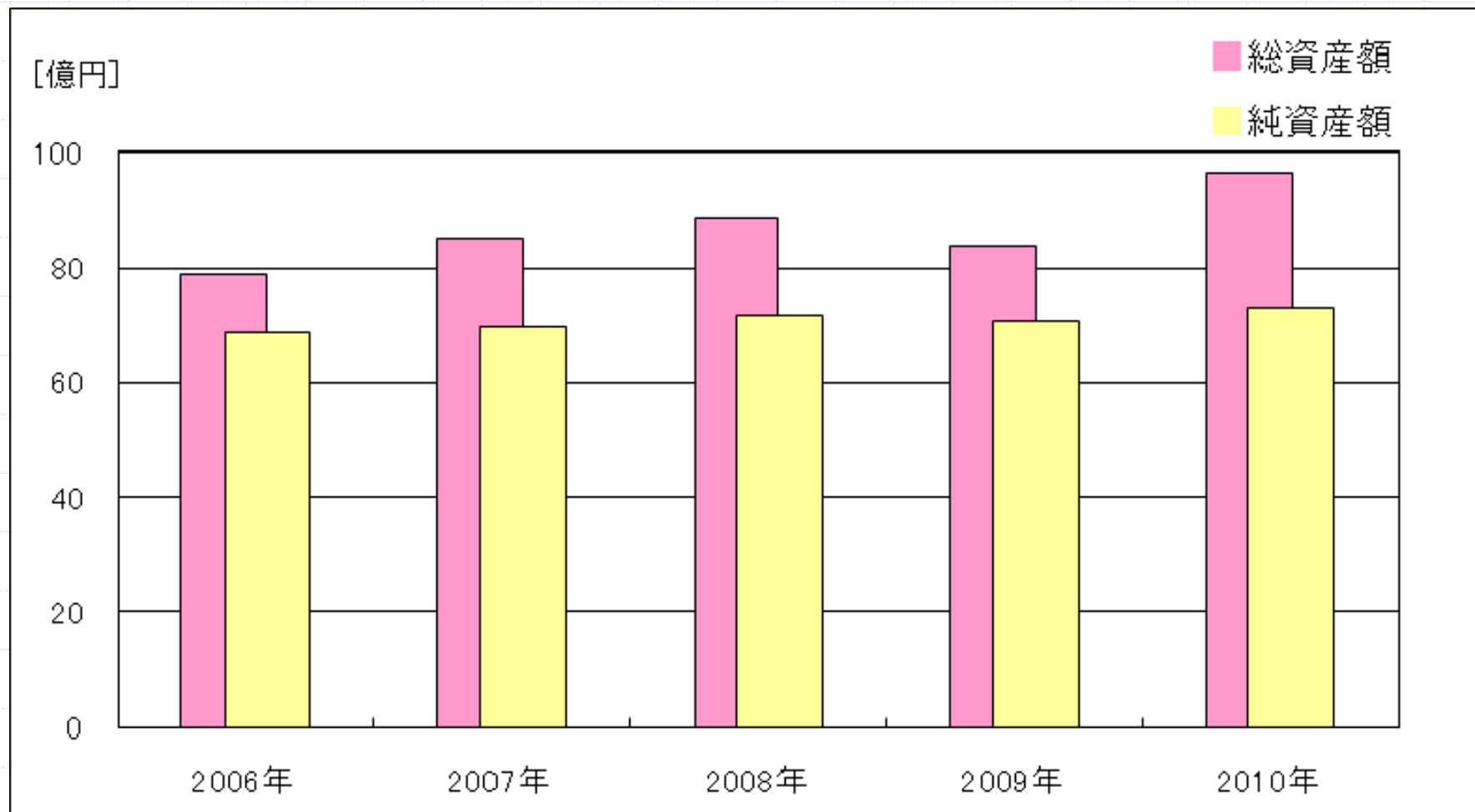


經常利益・当期純利益

・売上高經常利益率(連結)

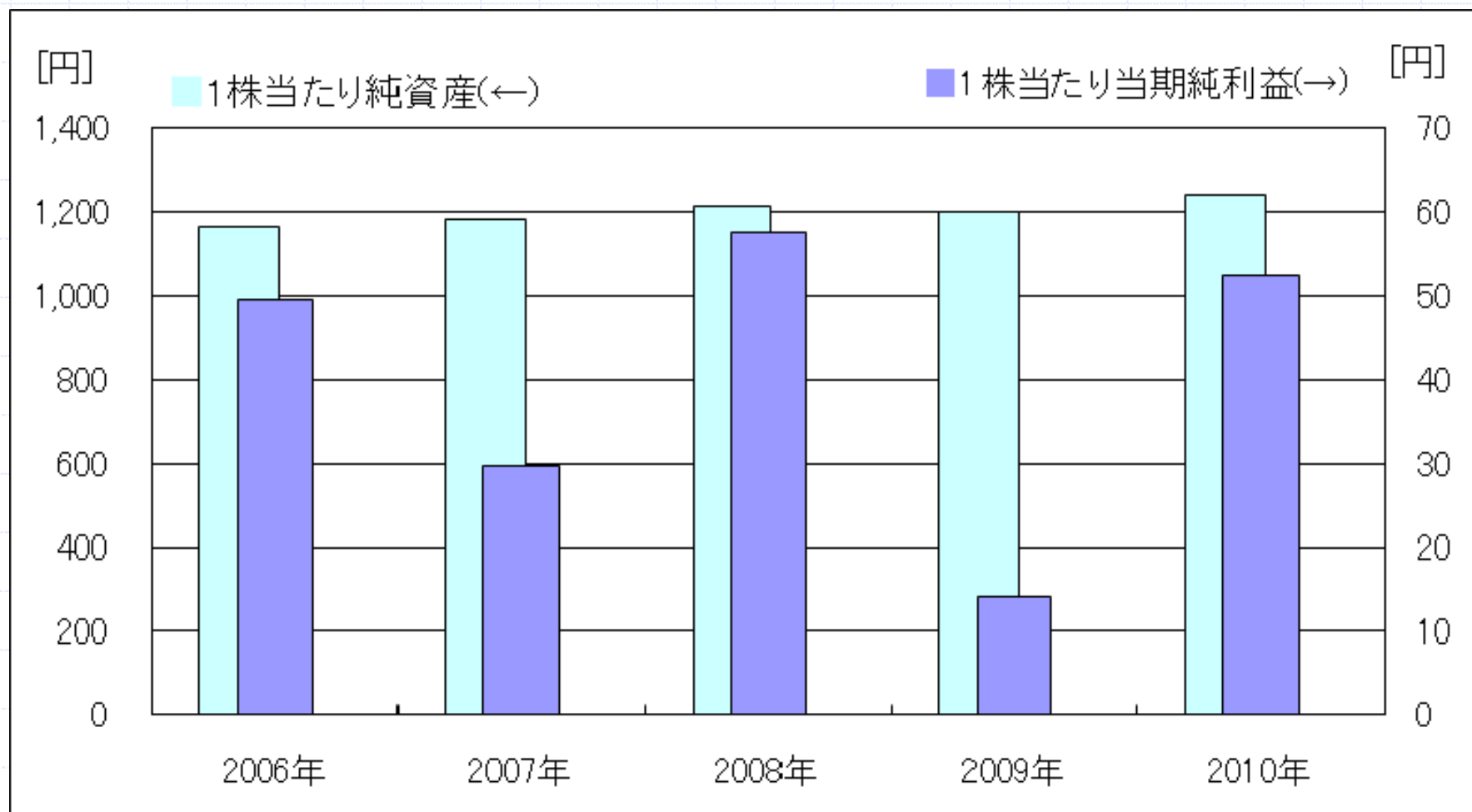


総資産額・純資産額(連結)

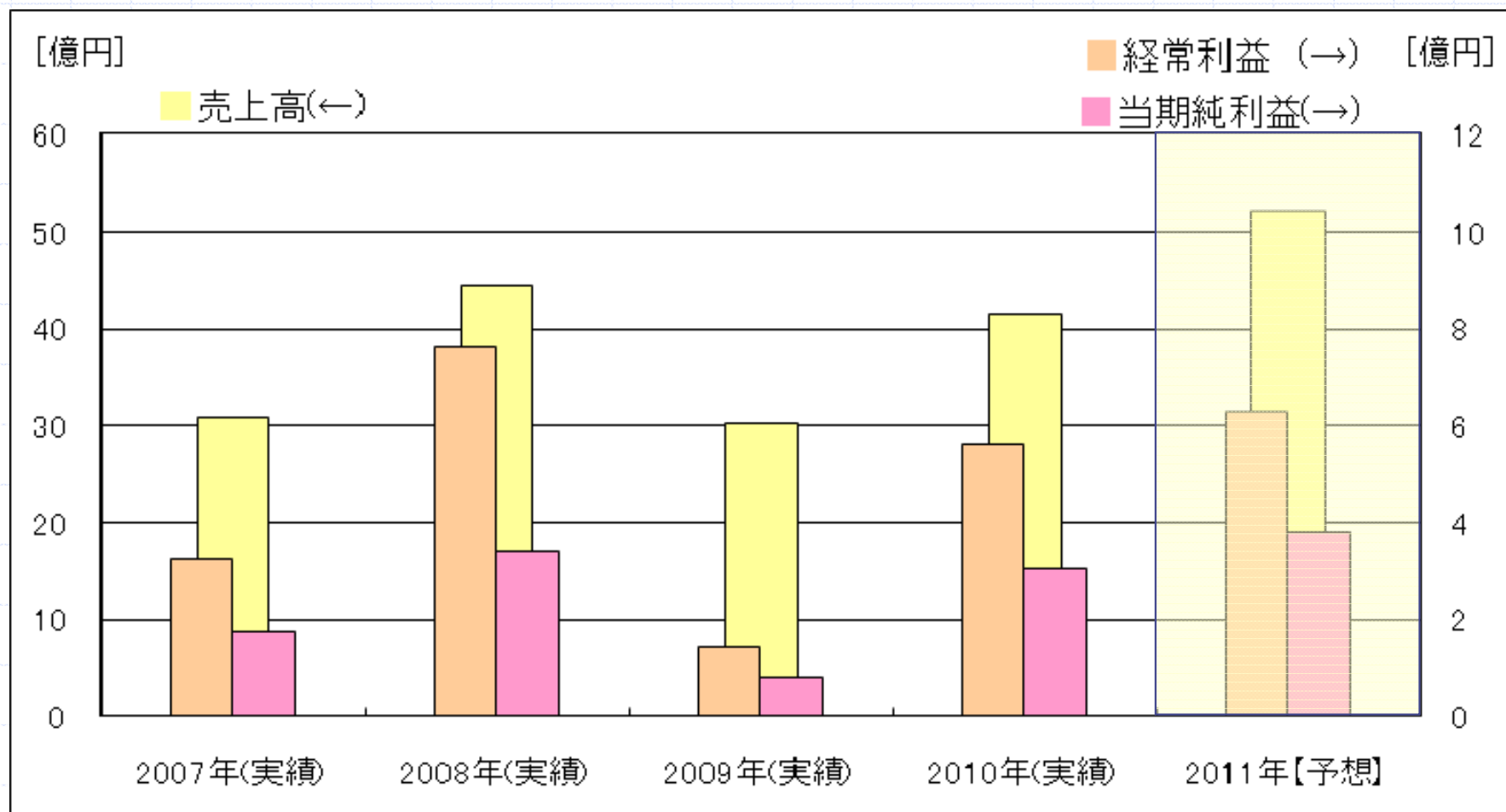


1株当たり純資産額

・ 1株当たり当期純利益(連結)



業績予想(連結)



決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社小田原エンジニアリング